

2025年6月9日

学修行動・成果アンケートについて

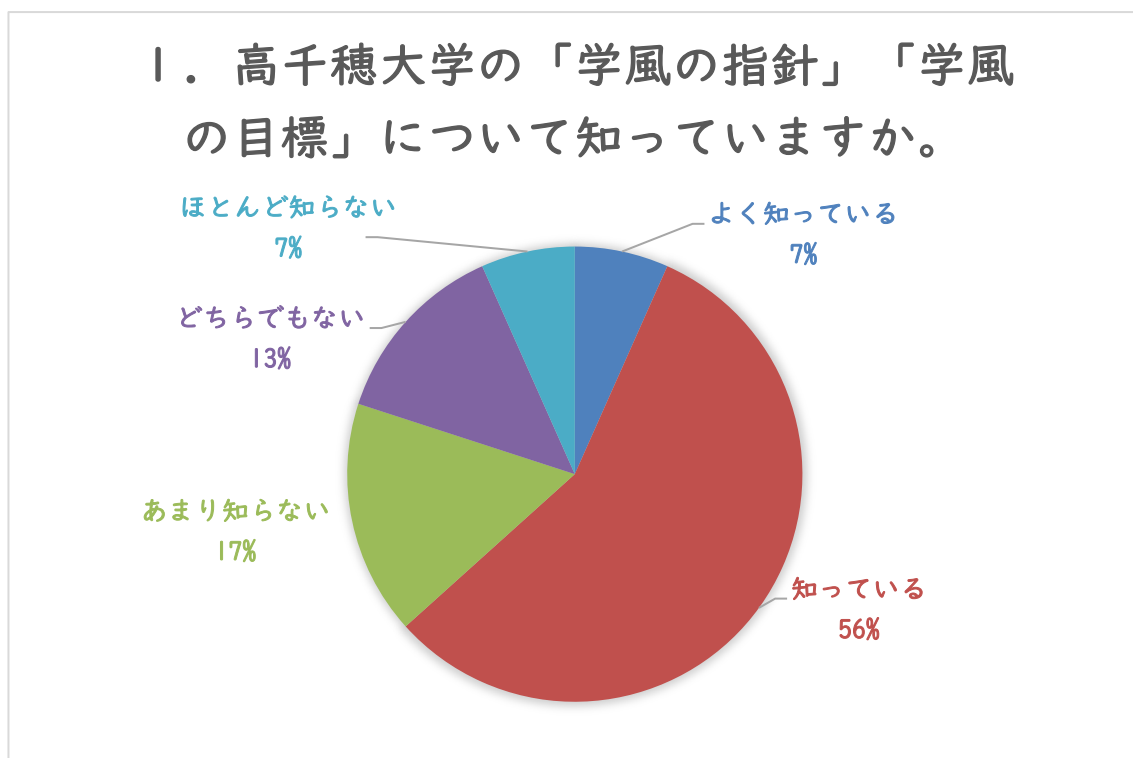
学長室
教務委員会

高千穂大学では、学長室・教務委員会の共同事業として新入生を対象とした学修行動・学修成果に関するアンケート調査を実施しております。2022年度から始まった調査で継続的に実施されることで、高千穂大学での学びの状況についてアンケート調査を用いて、全学的な状況を明らかにするものとなっています。

2025年度は新入生が授業に慣れてきた5月中旬から5月下旬にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、30名からの回答を得ました。

本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

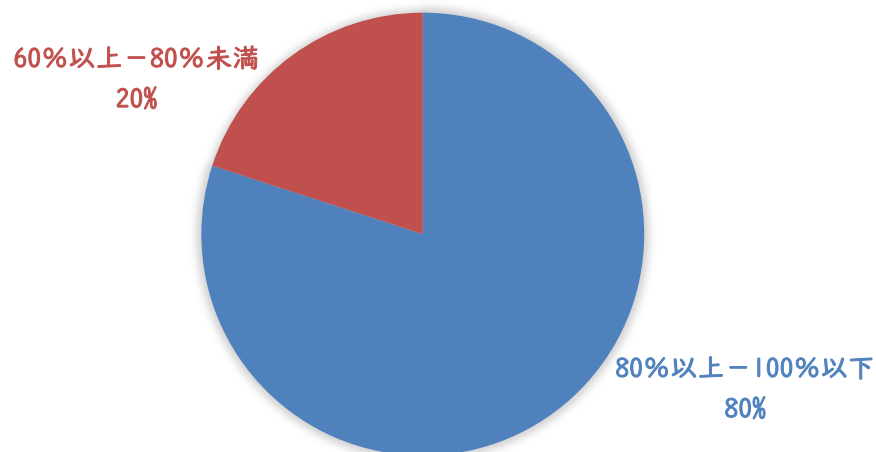
2年生（2024年入学生）



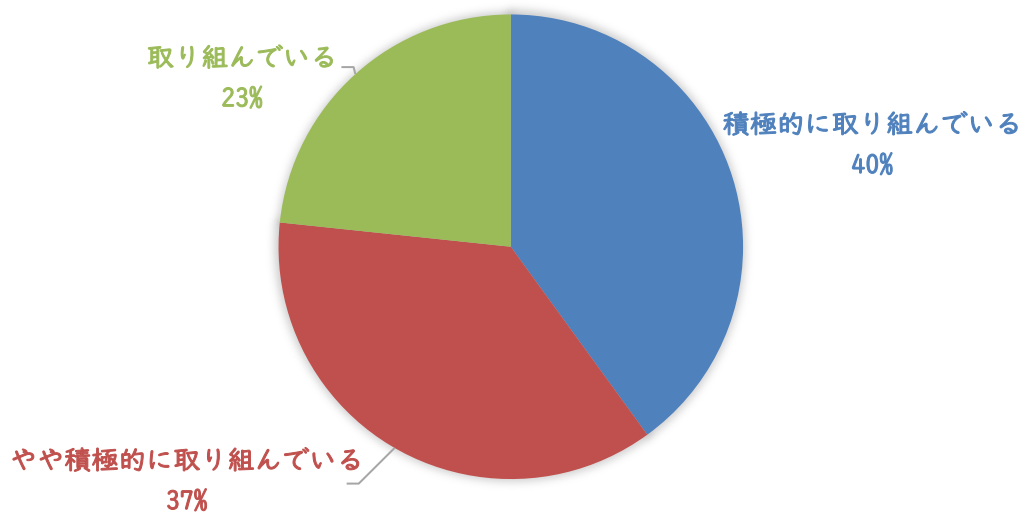
コメント：

「よく知っている」「知っている」と回答した学生が63%となっており、多くの学生が本学の学風の指針と学風の目標を理解している状況にある。今後も引き続き学内の各種媒体を通じて本学の教育理念の浸透を図る必要がある。

2. 授業に出席している割合はどのくらいですか。



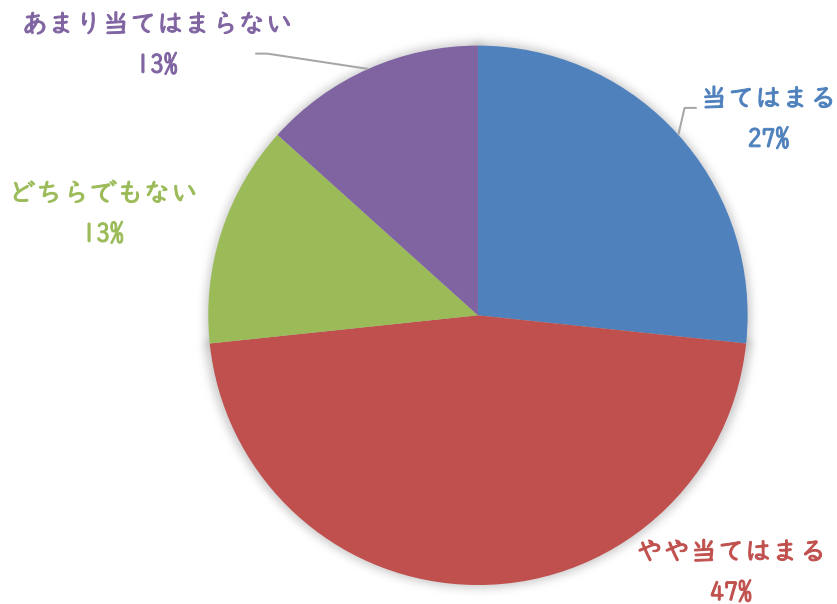
3. 授業に対して積極的に取り組んでいますか。



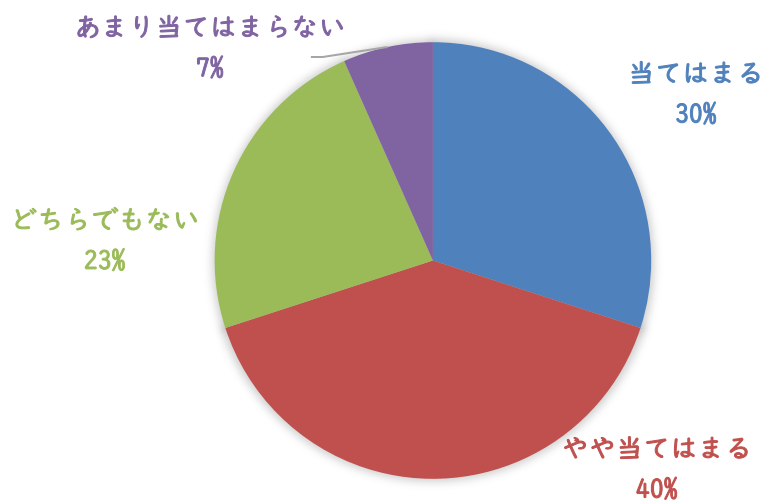
コメント：

授業への出席及び取り組みについては非常に良好な結果が得られている。これは、2年生になり専門ゼミに入ること、学生が授業での学びだけではなく予習・復習、またサブゼミなどの自主学習での学びに取り組んでいることによるものと推察できる。

4. 幅広い知識や教養を身につけている。



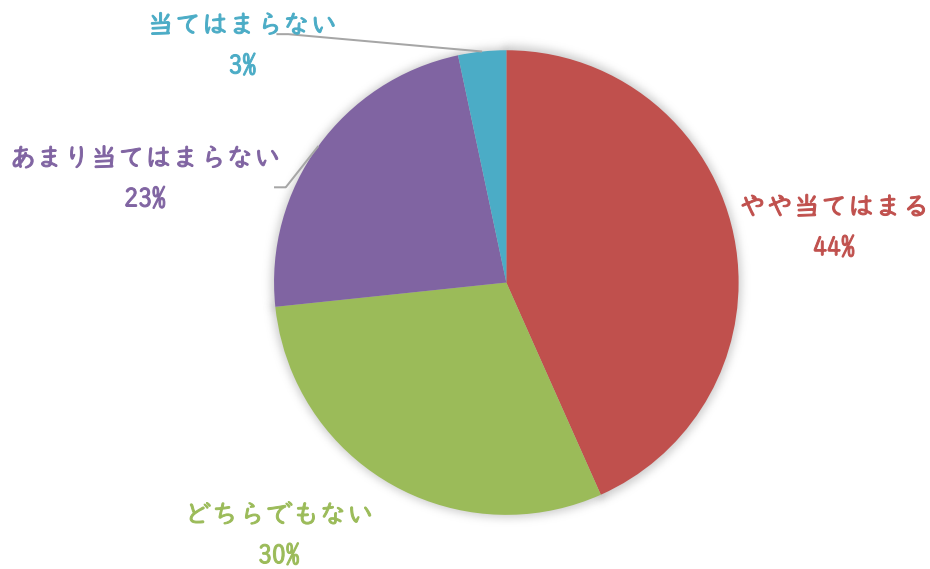
5. 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。



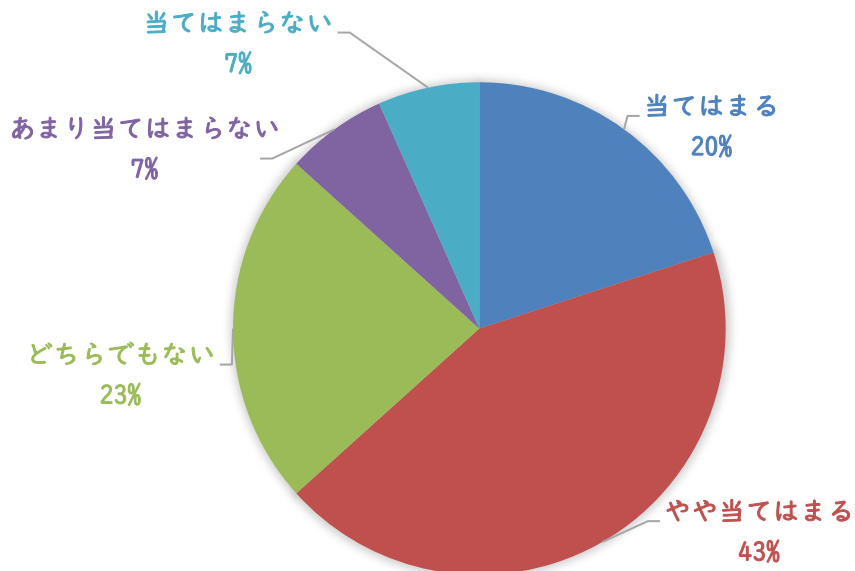
コメント：

本学では2年時からコース選択を通じた専門への転換が行われる。それにより、各学部で学ぶ専門知識が身につけてきていることがうかがえる。

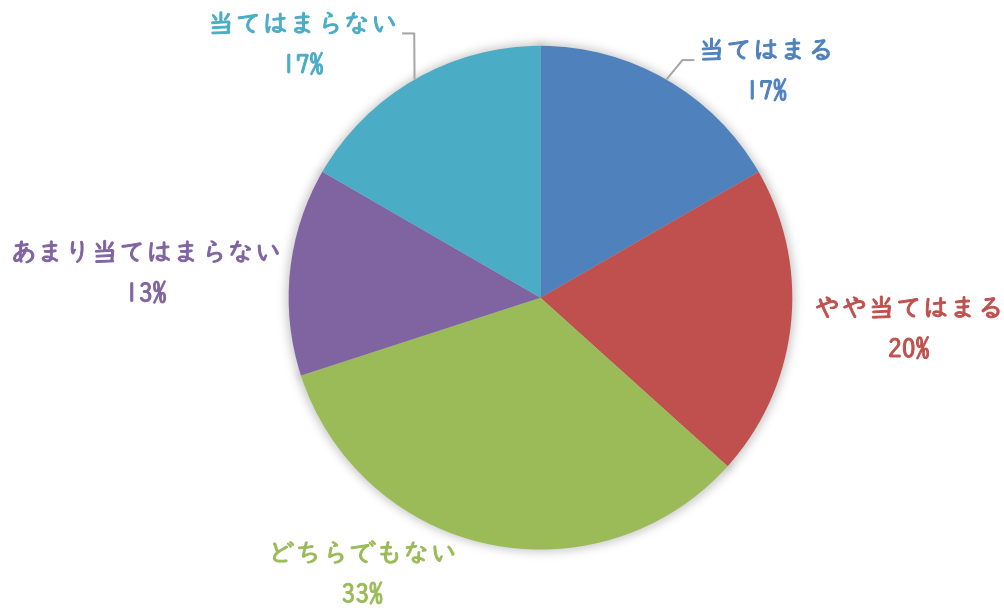
6. レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている



7. レポート作成に必要な文章作成技能を有している



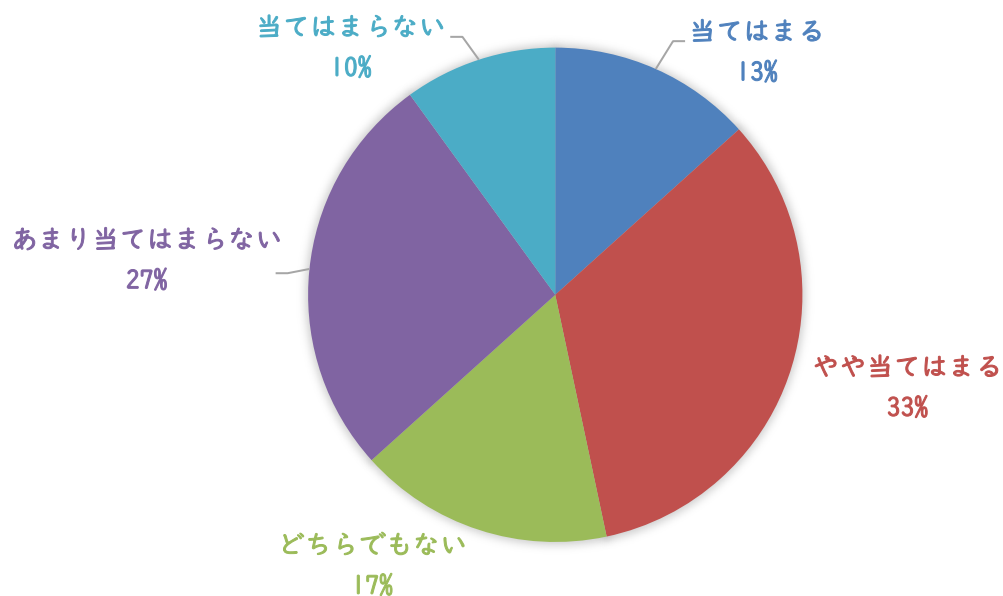
8. プレゼンテーション能力を有している



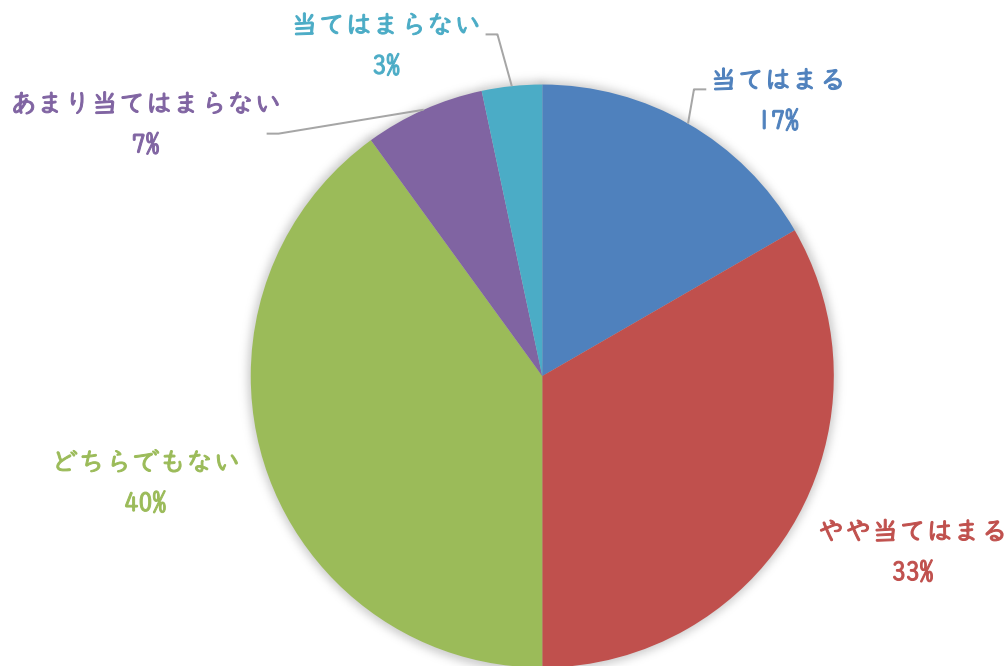
コメント：

それぞれの質問に対して、1年次の回答と比較すると飛躍的に「当てはまる」「やや当てはまる」の回答率が向上している。このことから、1年次後半に実施される初年時ゼミでの学びや各講義で出される課題への取り組みが、高い学修成果としてあらわれていると考えていいだろう。

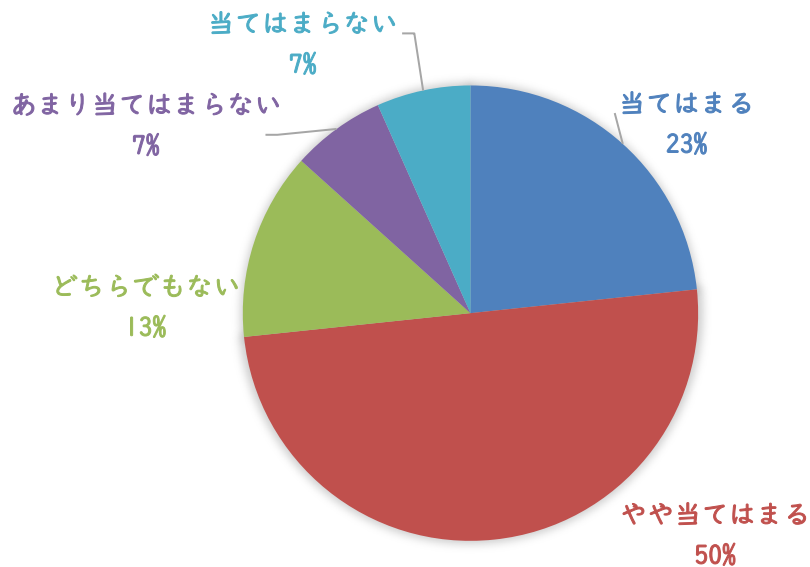
9. 前に踏み出す力が身についている



10. 考え抜く力が身に付いている



11. チームで働く力が身についている



コメント：それぞれの項目で高評価が見られる。特に「チームで働く力」については、これまでの調査ではあまり高くない評価であったが、今年度の調査ではかなり高い評価が得られている。これは、コロナ収束後の対面での講義やゼミ活動への取り組みが成果を上げていることの証左とみていいだろう。

以上